

勝央中学校 コミュニティ・スクール だより

「第57回学校運営協議会」 (R2年度 第4回)



令和3年2月

令和3年2月10日、本年度最後となる、第57回学校運営協議会が開かれました。

開会のあいさつ、学校から報告の後、学校評価について協議、その後、各委員から今年度のまとめの報告がありました。



(野上会長) 最近寒暖差がある気候。今年度最後の会。今年はコミュニティスクールをしながらも集まったのは、3回だった。残念だったのは生徒会との交流ができなかったこと。山陽新聞に勝央中の生徒の記事が載っていた。受験応援献立のことだった。生徒の様子が掲載されるととてもうれしい。今回はアンケート結果について熟議。また来年度の体制も話し合っていきたい。

(竹内校長) 運営委員の皆様には、様々な場面で中学校を応援して下さいました。生徒はコロナ禍ではあるが、新しい生活様式に従って学校生活を送っている。個々の課題はあったが、全体として引き続き落ち着いて生活できている。特別入試が終わり、全員無事に受験ができている。1年職業講演会が開催できた。よりよい方向になるよう、色々のご意見を頂きたい。

(中島教育長) これまで情報の発信が少なかったが、中学校のホームページの充実があった。生徒の様子がよくわかる。皆さんに見て欲しい。

勝央町立小中学校ポータル→勝央町立勝央中学校 (<http://gakuji.town.shoo.lg.jp/shoo-mh/>)

協議・審議

① 学校評価について

全体として生徒保護者ともに、昨年と比べると大半のアンケート項目で肯定率が改善している。学校が落ち着き、生徒の学校生活が安定・改善してきた成果であり、生徒、保護者ともにそれを実感できていることのあらわれである。生徒と教職員の信頼関係が上がり、指導・取組が生徒にも伝わる。学習面では苦手意識が残り、さらなる授業改善も進めていかなければならない。

② 来年度について

新学習指導要領の全面実施、社会に開かれた教育課程、学校運営協議会、地域学校協働本部、PTAと連携していく必要。GIGAスクールの構想の推進、来年度の生徒数・学級について説明があった。再度、新年度第1回の会(5月)にも説明する。

③ 学校評価アンケートを受けて(感想やご意見)

・全体として生徒保護者ともに、昨年と比べると大半のアンケート項目で肯定率が改善している。学校が落ち着き、生徒の学校生活が安定・改善してきた成果であり、生徒、保護者ともにそれを実感できていることのあらわれである。生徒と教職員の信頼関係が上がり、指導・取組が生徒にも伝わる。学習面では苦手意識が残り、さらなる授業改善も進めていかなければならない。

・「環境美化に心がけている」の項目が94%にあがった。長年75%台だった。これを維持してもらいたい。また気になる生徒もおり、母親が送ってきている関係で、仕事で忙しいのか、学校下の道で降車する生徒がいて気になっている。

・学校評価の項目生徒アンケート(6)「先生は、あなたが努力したことを認めてくれている。(9)「あなたは、周りの人を大切に生活している。」のポイントがあがっている。コロナ禍で先生方が頑張っておられる。コミュニティスクールを知っているかどうかアンケート項目に入れて欲しい。

・アンケートは全体像が見えてくるもの。正確に付けていない方もいるが、数字は出たものとして信用してよい。先生方が努力したことが数字に出ている。ホームページの情報公開もプラス。先生方が異和感を感じる数字があるのなら、考察をすれば課題が深められる。生徒の項目で「あなたは将来なりたい職業や夢がある。」は、肯定率100%はおかしい。夢を実現しようとしたが、その夢が破れ挫折はするもの。低下自体は問題ない。

・あいさつに関しては、検討事項。生徒間で二極化していないか。全体的なところで、二極化あるのかもしれない。見ていく必要がある。(6)「先生は、あなたが努力したことを認めてくれている。(8)「あなたには困った時に相談できる先生がいる。」コロナ禍で厳しい中で、良い数字である。

運営協議会委員の皆様、地域の皆様

一年間ご協力、ありがとうございました。